



私たちの生活を豊かに彩ってくれる芸術・文化活動。何が人をひきつけるのか、キラリと輝く皆さんにその魅力を聞きました。



菊づくり

1鉢に込める 創意工夫の日々

菊づくりは、1本の苗から育てていき、理想の菊の形に近づくように1年かけて育てあげる文化活動です。菊の種類や形状によって「部門」「美の基準」があり、菊花展という審査の場もあります。

例えば「三鉢組」という部門では、1本の幹から3本を分岐させ、それぞれに花が咲くよう育てます。3本に分岐した枝の一番上の1本を「天」、残りの2本を「地」と「人」と呼び、天は高さ165cm以内、地と人は、同じ高さになるように育てなければなりません。三鉢組では、均衡のとれた美しい三角形を描くことが審査で高い評価となるポイントです。

菊づくりは、1鉢で始められるので、植物好きな人が気軽に始める趣味としてお勧めです。審査の日に合わせて

て立派な菊を咲かせようと、苗づくりに始まり、水やり、追肥、日照時間など、一つ一つを研究し、創意工夫を重ねます。この創意工夫の日々が、菊づくりの醍醐味（だいごみ）。どんな環境が菊にとって良いのかトライアンドエラーを繰り返し、思い描く理想の形に近づくように、知恵を絞ります。

個人作業が多い菊づくりの活動ですが、講習会や菊花展など仲間との交流もあります。仲間との情報交換は刺激になり、自分一人で考えた方法にこだわるのではなく、仲間のやり方にも目を向けて、自分で試してみることが上達のコツです。その努力が実り、大輪の花を咲かせたときの感動、菊花展で自分の作品が並んだときの達成感はひとしおです。奥深い菊の世界を体験してみませんか。



教えてくれた人
市菊花協会
藤森敏充さん



菊づくりを始めたい人は

日時 月1回土曜 9:30～11:30
場所 日吉台公民館など
問合 Tel.688-6722（フジモリ）